

令和4年7月22日
文 京 区

独立行政法人国際協力機構（JICA）が発行する
ソーシャルボンドの購入について

文京区は、積立基金の運用を通じた社会貢献への取組として、独立行政法人国際協力機構（以下「JICA」という。）が発行するソーシャルボンド（第66回国際協力機構債「ピースビルディングボンド（平和構築債）」）を購入しました。

JICA は、開発途上地域の経済及び社会の開発若しくは復興又は経済の安定に寄与することを通じて、国際協力の促進並びに我が国及び国際経済社会の健全な発展に資することを目的として国の全額出資により設立された独立行政法人で、開発途上地域に対する技術協力や資金協力等を行い、持続可能な国際社会の実現に貢献しています。

ピースビルディングボンドは、「人間の安全保障と質の高い成長の実現」の達成に向けて、暴力的な紛争を発生・再発させない強靱な国・社会づくりに取り組んでいる JICA が、今般の世界的な平和の危機を踏まえ、平和な社会の実現に向けた取組を強化するため発行したソーシャルボンドです。

JICA が発行する債券は、国際資本市場協会（ICMA）の「ソーシャルボンド原則」に適合する債券としてセカンド・オピニオン（発行者：株式会社日本総合研究所）を取得しており、このピースビルディングボンドで調達された資金は、紛争・内戦により影響を受けた（受けている）国・地域等に対する平和と安定や復興に資する事業に充当されます。また、JICA が発行するソーシャルボンドは、我が国の「SDGs 実施指針改定版」において SDGs 達成に必要な資金を確保するためのファイナンスとしても位置づけられています。

文京区は、引き続き、社会的課題の解決に貢献する取組を進め、今後も持続可能な社会の形成に向けた社会的責任を果たしてまいります。